大学院等高度副プログラム

言語学 (Linguistics)

近年、言語理論の発展は著しく、他分野との接点になる心理言語学、社会言語学等の研究の幅も広がりを見せています。また、脳科学における人間の言語理解・算出のメカニズムを解明するfMRI等を用いた実験研究、自然言語との比較が欠かせないAI関連の研究等においても言語学的な知識は必須です。

さらに、諸言語の現状や歴史を理解するには、政府の言語政策、社会階層と言語の関係、「標準語」と「方言」等、社会的、文化的、歴史的背景の正しい知識が不可欠です。

このような現状を踏まえ、本プログラムは、**個々の専門分野に合わせて「言語」を多角的に考察する力を育成する**ことを目的とします。

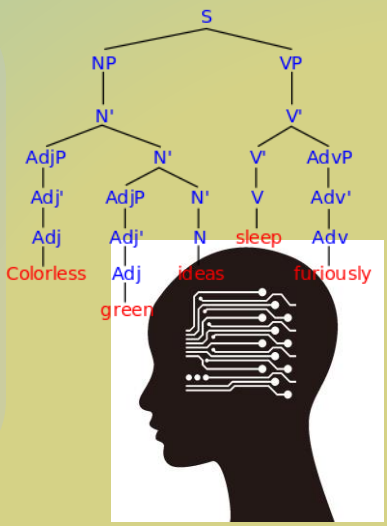
本プログラムの主な到達目標:
① 言語学諸分野ならびにその関連分野についての知識を体系的に習得する。
② 世界の諸言語についての現状や課題等が広い視野で理解できるようになる。

この目標に向けて、本プログラムは、言語理論、世界の諸言語、社会言語学、応用言語学等の授業を幅広く提供します。本プログラムは段階的な科目構成ではなく、**受講生の興味に合わせ、言語学の諸分野がカバーできる科目配置**になっており、科目を多く履修すれば、それだけ広範囲な知見が得られます。

担当部局:人文学研究科

修了要件等:所定の条件を満たして8単位以上修得された方には「修了認定書」が発行されます。

履修対象者:文系・理系を問わず、言語に興味があり、言語学の知見を個々の研究分野で活かしたいと考えている大学院生。博士前期課程の言語に係る幅広い科目群によって構成されているプログラムです。博士後期課程の方も履修することが可能です。



受講方法等については初回の授業で説明します。

大学院等高度副プログラム

言語学 (Linguistics)
提供授業科目

対照言語学講義 (人文学専攻)
理論言語学講義 (人文学専攻)
英語学講義 (人文学専攻)
比較言語学講義 (人文学専攻)
史的言語研究 (言語文化学専攻)
理論言語学 (統語論) (言語文化学専攻)
理論言語学 (意味論) (言語文化学専攻)
心理言語学 (言語文化学専攻)
言語認知科学論 (言語文化学専攻)
認知言語学研究 (言語文化学専攻)
認知意味理論研究 (言語文化学専攻)
コミュニケーション論 (言語文化学専攻)
社会言語学研究 (言語文化学専攻)
言語統計学 (言語文化学専攻)
ヨーロッパ言語構造論 (外国学専攻)
世界の言語 (外国学専攻)
世界の言語事情 (外国学専攻)
国語史講義（日本学専攻）
社会言語学講義（日本学専攻）
国語学講義 (日本学専攻)
日本語教育学研究 (日本学専攻)